

担い手農業者等との意見交換会の結果について

公益財団法人鹿児島県地域振興公社

月 日	参加者の概要	主な意見
令和元年 9月30日	県農業法人協会会員 5名 (県農業法人協会理事 会における意見交 換)	<ul style="list-style-type: none">・ 農地所有者から貸借や売買の相談を受けることが多いので、関係機関に情報をつなぐ資材や事業PRを兼ねられる資材があると大変助かる。・ 機械が大型化しており、広い農地を求めている。狭小地や条件不利地は条件整備などを行い、使いやすい農地の確保につながるよう機構事業に期待している。・ 地域の農地維持の観点から、作付予定がない条件不利地も借りている。これらの畑を活用するためには、飼料作物の栽培を行うことが一番と考え、新たに畜産経営（生産牛）を開始した。今後は、この取組を全国のモデル事例にしたいと考えている。・ 農地の貸し借りが進んでいるところや進まないところがあるので、地域の実情に応じて検討した上で対応してほしい。